

## 12 食品ロスの削減について

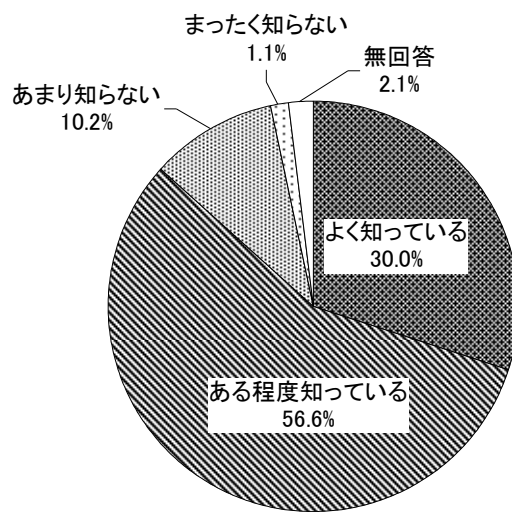
### (1) 食品ロスの問題の認知度

問29 あなたは、「食品ロス」(※)の問題を知っていますか。次の中から1つ選んでください。

※ 食品ロスとは、食べ残しや賞味期限切れの食品など、本来食べられる部分が捨てられたものをいいます。

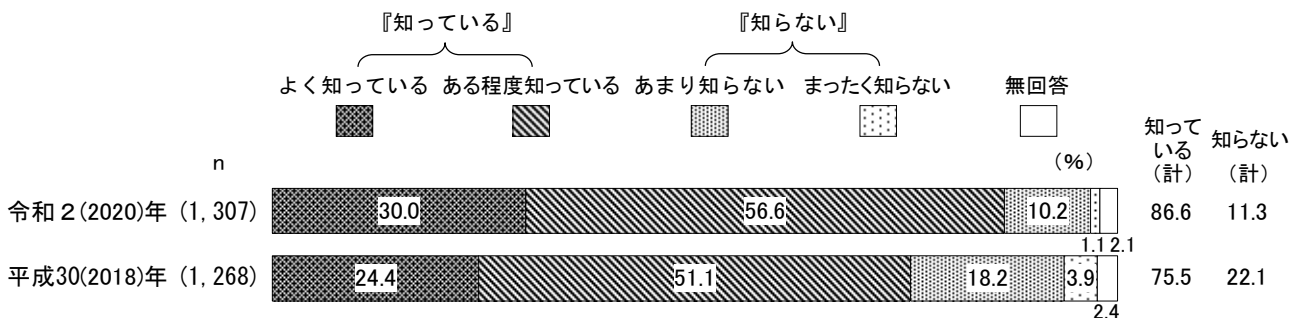
[n=1,307]

1	よく知っている	30.0%	3	あまり知らない	10.2%
2	ある程度知っている	56.6	4	まったく知らない	1.1
				(無回答)	2.1



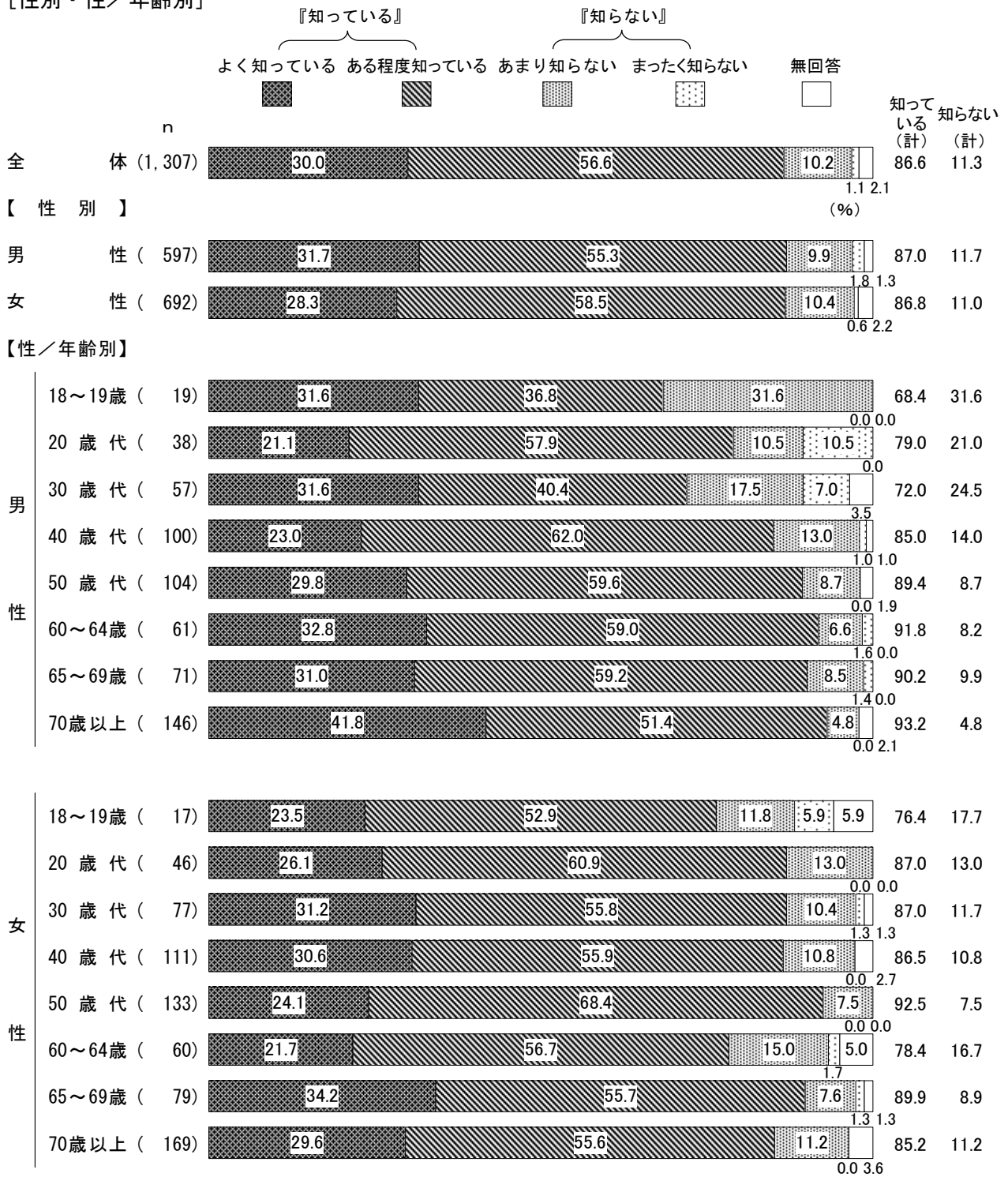
(n=1,307)

全体で見ると、「よく知っている」(30.0%)と「ある程度知っている」(56.6%)の2つを合わせた『知っている』(86.6%)が9割近くと高くなっている。一方、「あまり知らない」(10.2%)と「まったく知らない」(1.1%)の2つを合わせた『知らない』(11.3%)が1割を超えている。



平成30(2018)年の調査結果と比較すると、『知っている』が11.1ポイント増加している。一方、『知らない』が10.8ポイント減少している。

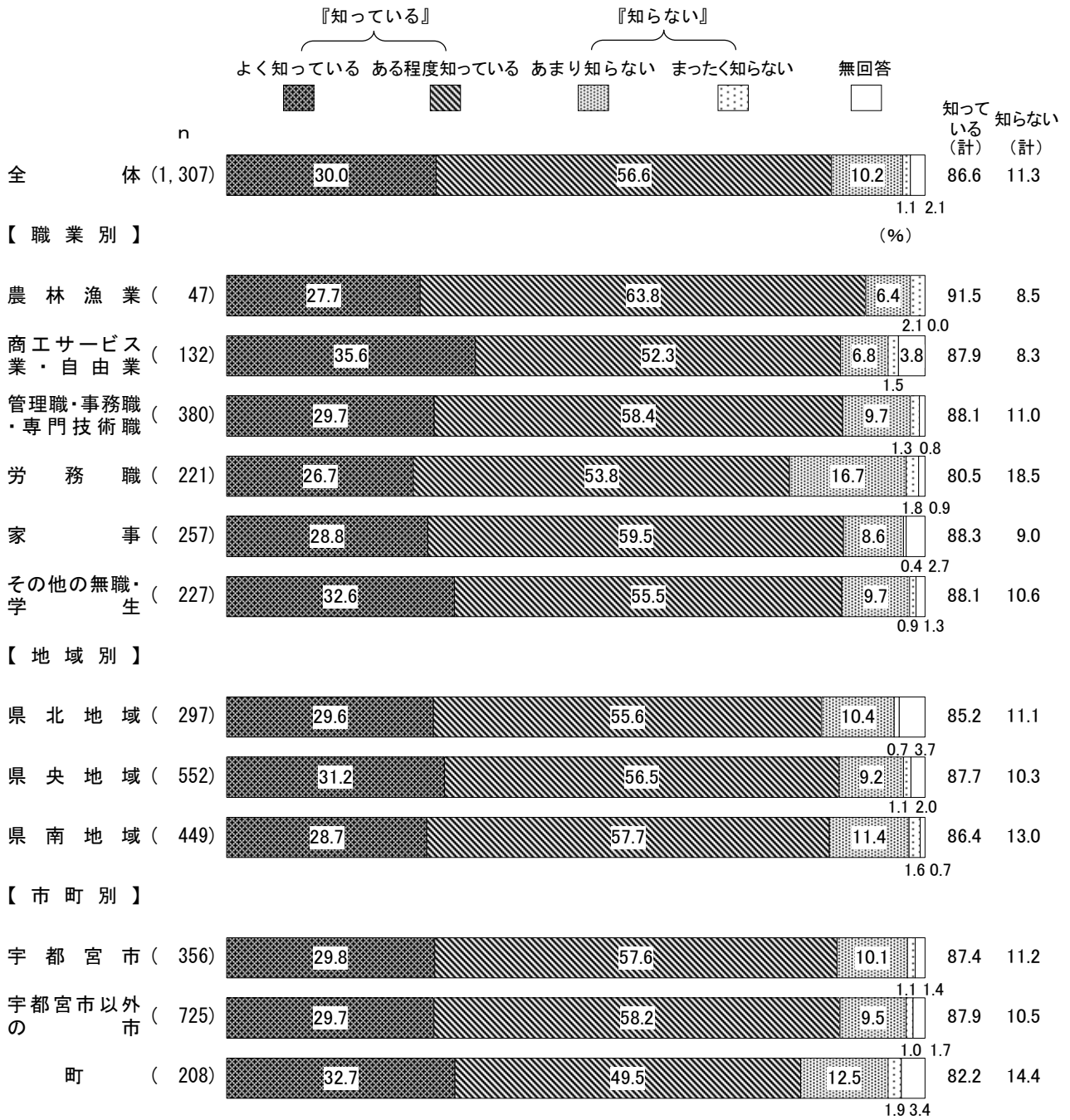
【性別・性／年齢別】



性別でみると、大きな傾向の違いはみられない。

性／年齢別でみると、「よく知っている」では〈男性70歳以上〉が41.8%と高くなっている。一方、『知らない』では〈男性30歳代〉が24.5%と高くなっている。

【職業別・地域別・市町別】



職業別で見ると、『知らない』では〈労務職〉が18.5%となっている。

地域別で見ると、大きな傾向の違いはみられない。

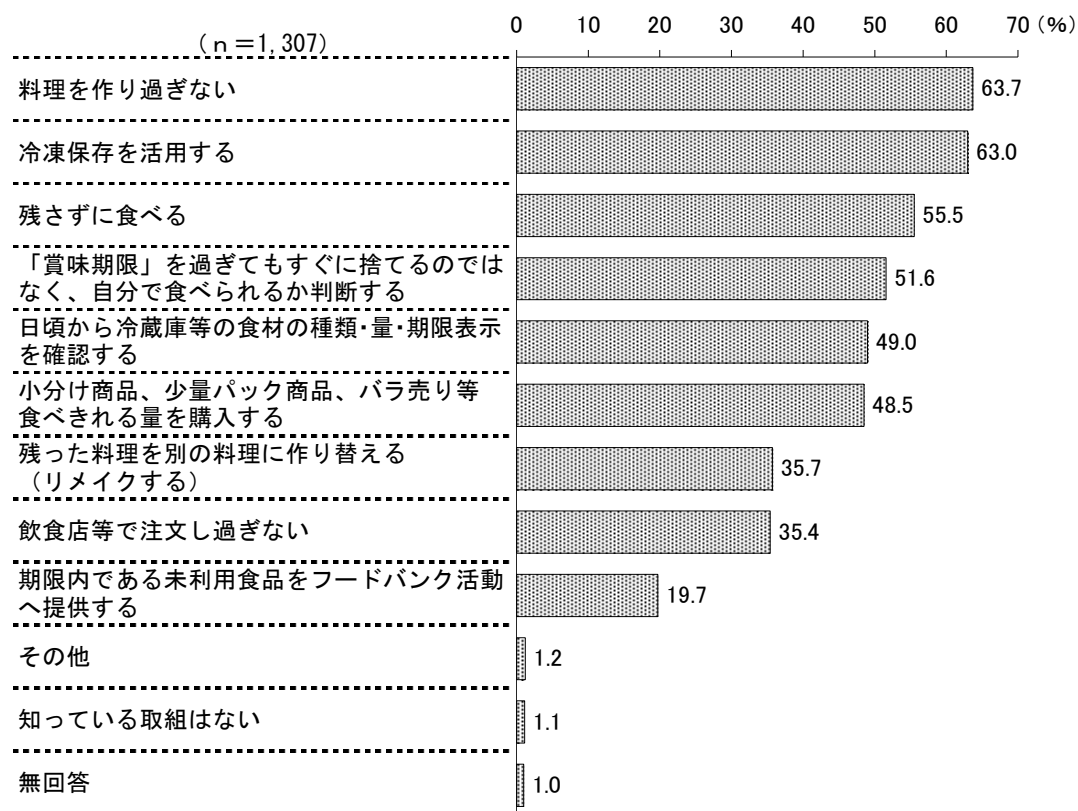
市町別で見ると、大きな傾向の違いはみられない。

## (2) 食品ロスが発生させないための取組で知っていること

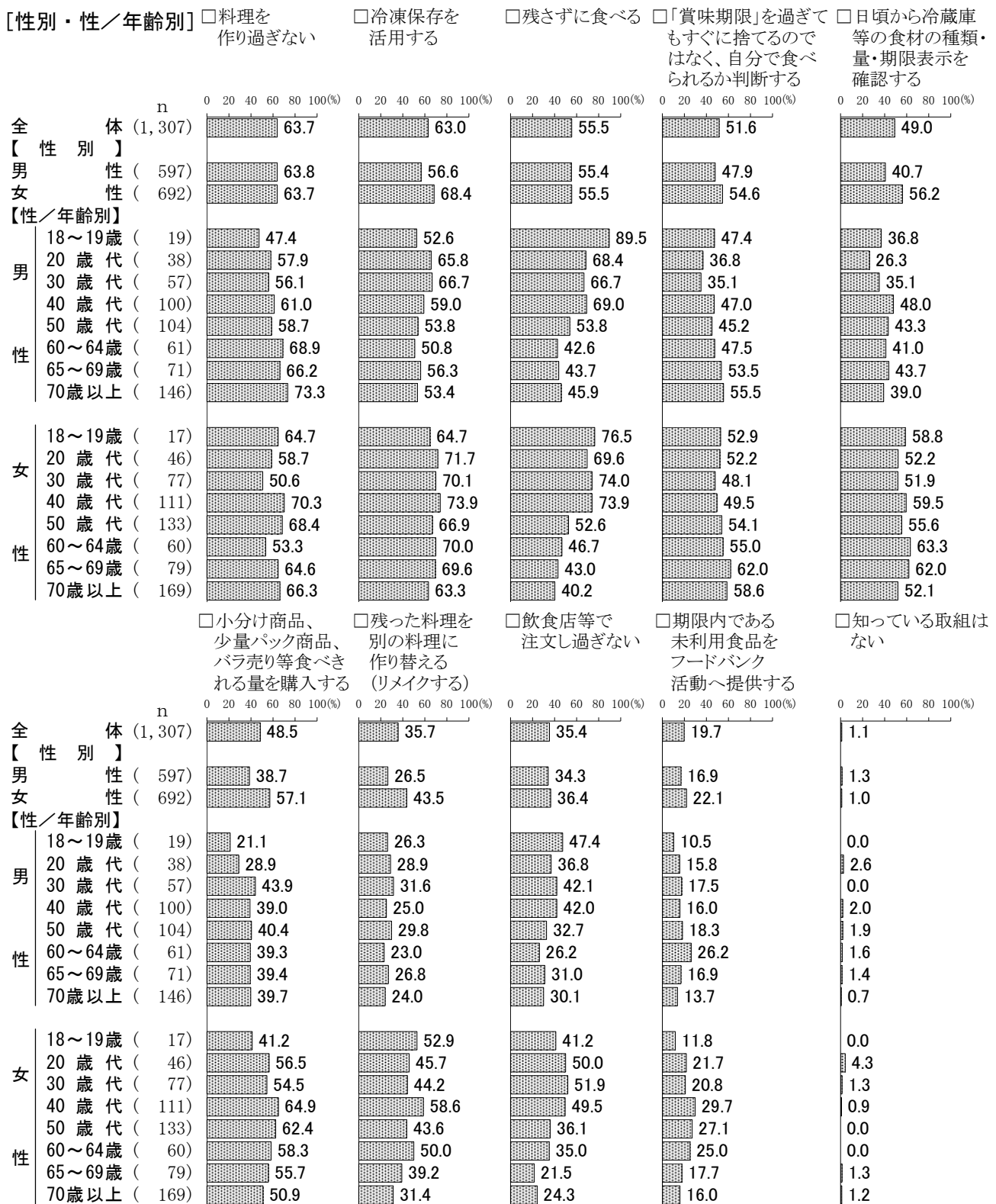
問30 あなたが知っている、食品ロスが発生させない（食品を無駄にしない）ための取組はどのようなものですか。次の中からいくつでも選んでください。

[n=1,307]

1	料理を作り過ぎない	63.7%
2	残さずに食べる	55.5
3	残った料理を別の料理に作り替える（リメイクする）	35.7
4	冷凍保存を活用する	63.0
5	日頃から冷蔵庫等の食材の種類・量・期限表示を確認する	49.0
6	「賞味期限」を過ぎてもすぐに捨てるのではなく、自分で食べられるか判断する	51.6
7	小分け商品、少量パック商品、バラ売り等食べきれる量を購入する	48.5
8	飲食店等で注文し過ぎない	35.4
9	期限内である未利用食品をフードバンク活動へ提供する	19.7
10	その他	1.2
11	知っている取組はない (無回答)	1.1 1.0



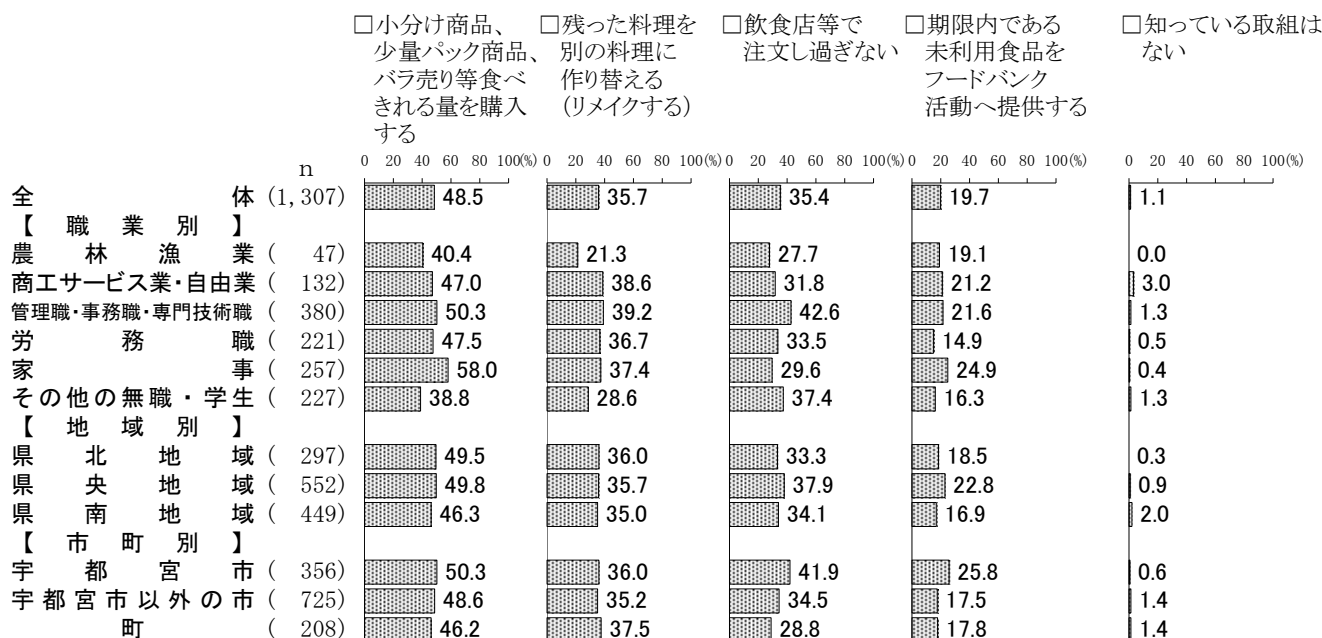
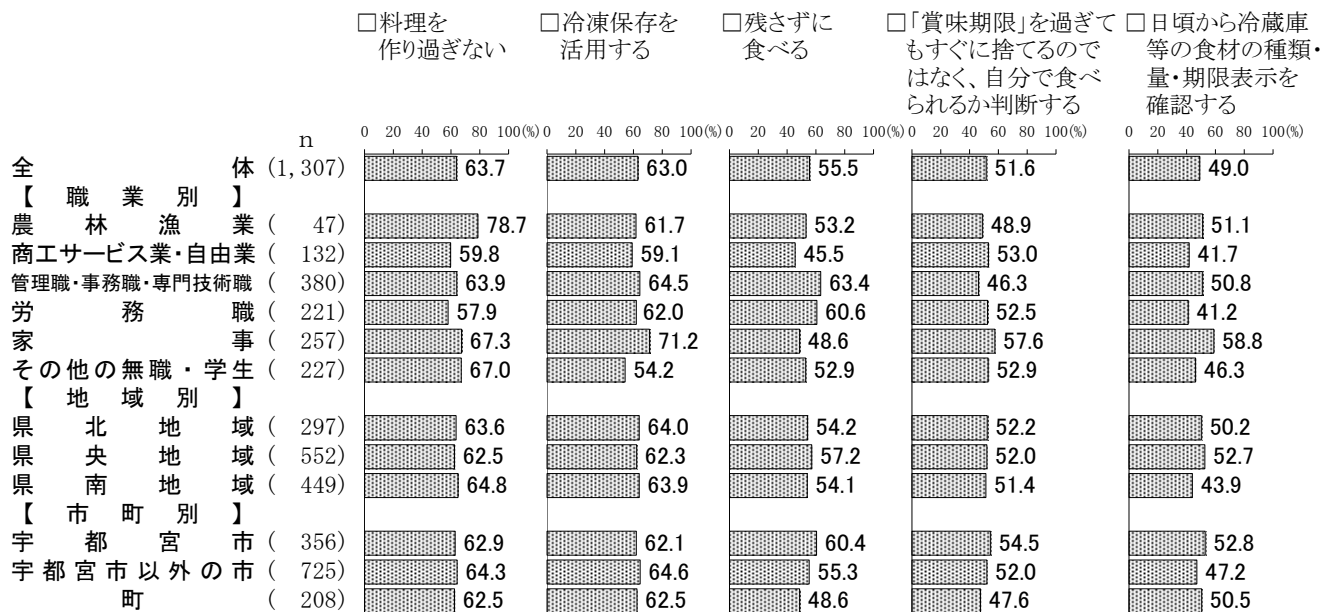
全体で見ると、「料理を作り過ぎない」(63.7%)が6割を超えて最も高く、次いで「冷凍保存を活用する」(63.0%)、「残さずに食べる」(55.5%)、「『賞味期限』を過ぎてもすぐに捨てるのではなく、自分で食べられるか判断する」(51.6%)、「日頃から冷蔵庫等の食材の種類・量・期限表示を確認する」(49.0%)、「小分け商品、少量パック商品、バラ売り等食べきれる量を購入する」(48.5%)の順となっている。



性別でみると、「小分け商品、少量パック商品、バラ売り等食べきれぬ量を購入する」では〈女性〉(57.1%)が〈男性〉(38.7%)より18.4ポイント高くなっている。「残った料理を別の料理に作り替える(リメイクする)」では〈女性〉(43.5%)が〈男性〉(26.5%)より17.0ポイント高くなっている。「日頃から冷蔵庫等の食材の種類・量・期限表示を確認する」では〈女性〉(56.2%)が〈男性〉(40.7%)より15.5ポイント高くなっている。

性／年齢別でみると、「料理を作り過ぎない」では〈男性70歳以上〉が73.3%と高くなっている。「冷凍保存を活用する」では〈女性40歳代〉が73.9%と高くなっている。「残さずに食べる」では〈女性30歳代〉が74.0%、〈女性40歳代〉が73.9%と高くなっている。「小分け商品、少量パック商品、バラ売り等食べきれぬ量を購入する」では〈女性40歳代〉が64.9%、〈女性50歳代〉が62.4%と高くなっている。

[職業別・地域別・市町別]



職業別で見ると、「料理を作り過ぎない」では〈農林漁業〉が78.7%と高くなっている。「冷凍保存を活用する」では〈家事〉が71.2%と高くなっている。「残さずに食べる」では〈管理職・事務職・専門技術職〉が63.4%と高くなっている。「日頃から冷蔵庫等の食材の種類・量・期限表示を確認する」では〈家事〉が58.8%と高くなっている。「小分け商品、少量パック商品、バラ売り等食べきれぬ量を購入する」では〈家事〉が58.0%と高くなっている。

地域別で見ると、大きな傾向の違いはみられない。

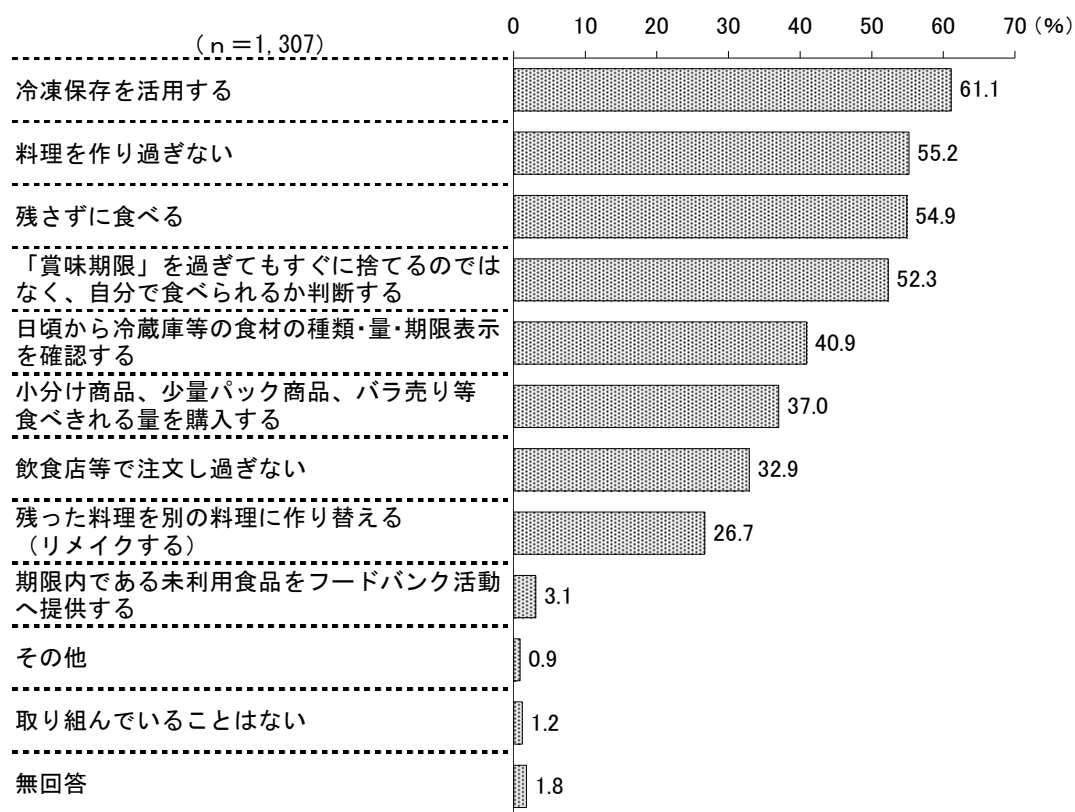
市町別で見ると、「飲食店等で注文し過ぎない」では〈宇都宮市〉が41.9%と高くなっている。「期限内である未利用食品をフードバンク活動へ提供する」では〈宇都宮市〉が25.8%と高くなっている。

### (3) 食品ロスが発生させないために現在取り組んでいること

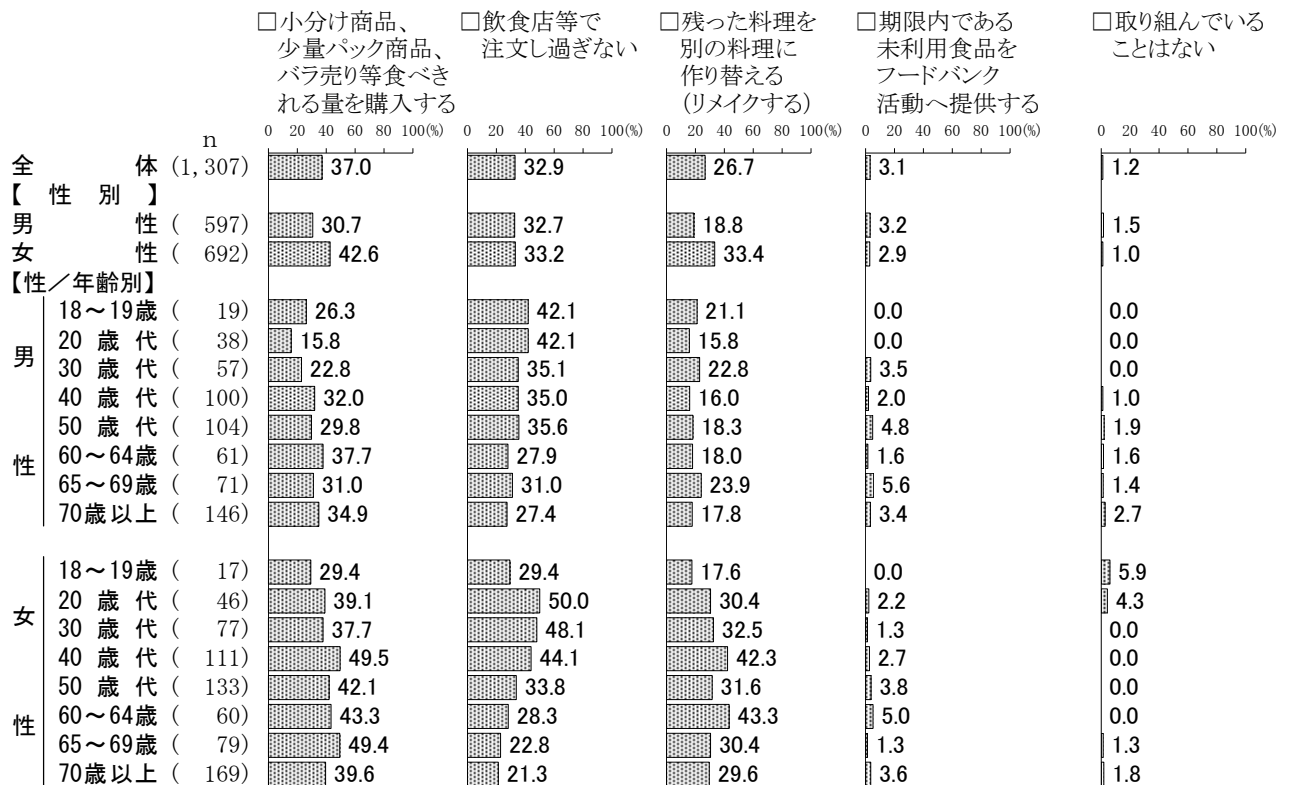
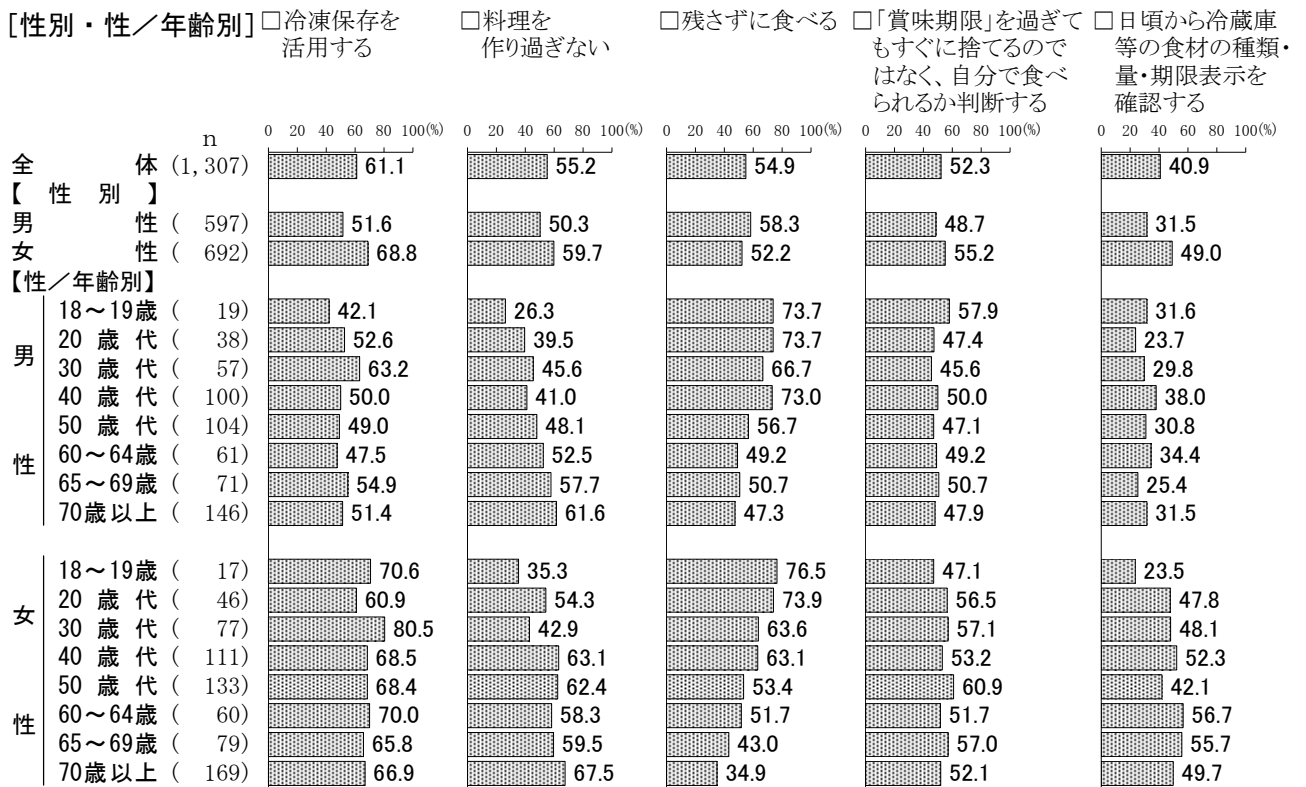
問31 あなたが現在行っている、食品ロスが発生させない（食品を無駄にしない）ための取組はどのようなものですか。次の中からいくつでも選んでください。

[n = 1,307]

1	料理を作り過ぎない	55.2%
2	残さずに食べる	54.9
3	残った料理を別の料理に作り替える（リメイクする）	26.7
4	冷凍保存を活用する	61.1
5	日頃から冷蔵庫等の食材の種類・量・期限表示を確認する	40.9
6	「賞味期限」を過ぎてもすぐに捨てるのではなく、自分で食べられるか判断する	52.3
7	小分け商品、少量パック商品、バラ売り等食べきれる量を購入する	37.0
8	飲食店等で注文し過ぎない	32.9
9	期限内である未利用食品をフードバンク活動へ提供する	3.1
10	その他	0.9
11	取り組んでいることはない	1.2
	(無回答)	1.8



全体でみると、「冷凍保存を活用する」(61.1%)が6割を超えて最も高く、次いで「料理を作り過ぎない」(55.2%)、「残さずに食べる」(54.9%)、「『賞味期限』を過ぎてもすぐに捨てるのではなく、自分で食べられるか判断する」(52.3%)、「日頃から冷蔵庫等の食材の種類・量・期限表示を確認する」(40.9%)の順となっている。

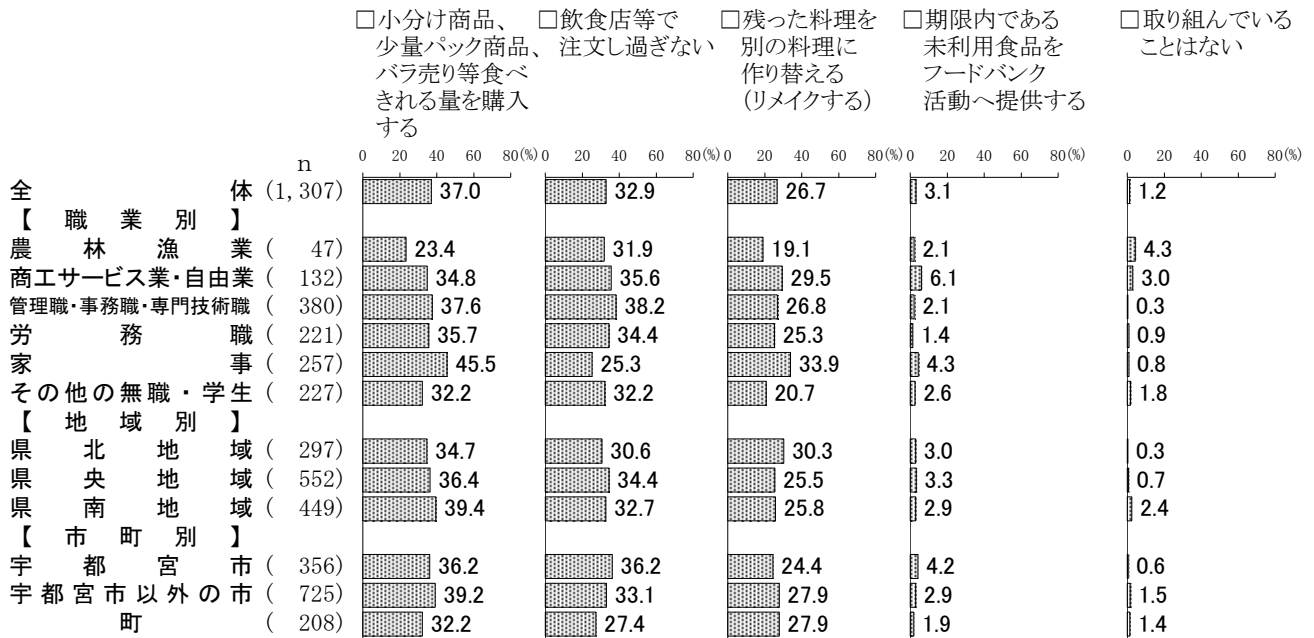
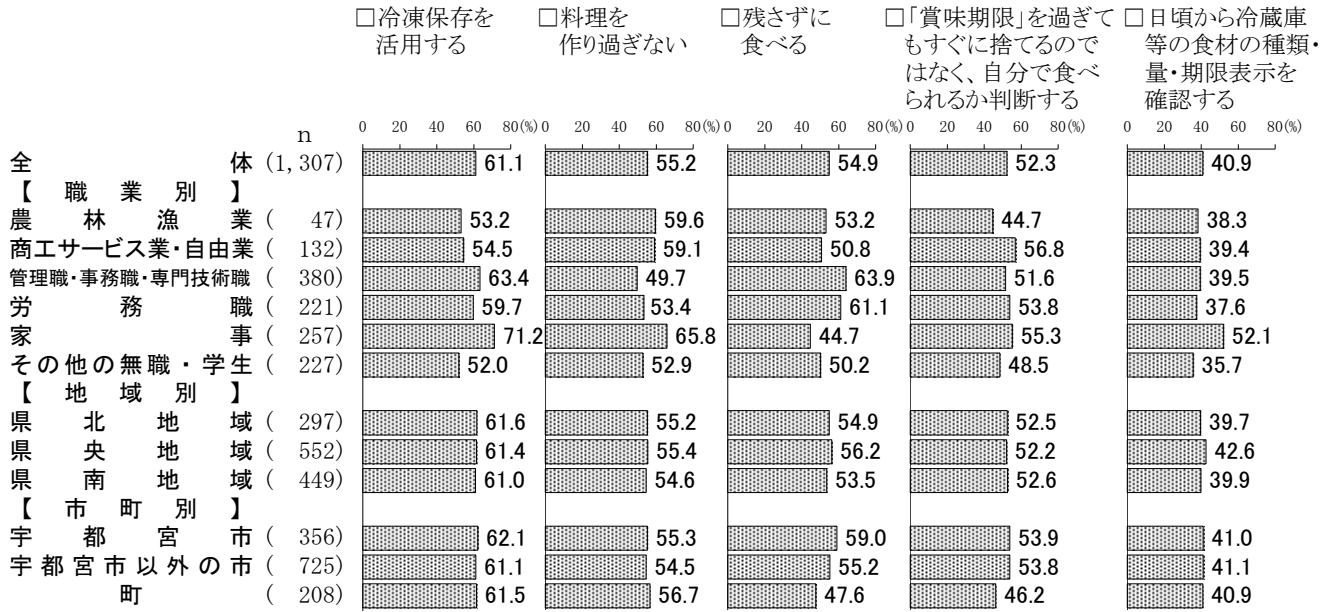


性別でみると、「日頃から冷蔵庫等の食材の種類・量・期限表示を確認する」では〈女性〉(49.0%)が〈男性〉(31.5%)より17.5ポイント高くなっている。「冷凍保存を活用する」では〈女性〉(68.8%)が〈男性〉(51.6%)より17.2ポイント高くなっている。「残った料理を別の料理に作り替える(リメイクする)」では〈女性〉(33.4%)が〈男性〉(18.8%)より14.6ポイント高くなっている。

性／年齢別でみると、「冷凍保存を活用する」では〈女性30歳代〉が80.5%と高くなっている。「料理を作り過ぎない」では〈女性70歳以上〉が67.5%と高くなっている。「残さずに食べる」では〈女性20歳代〉が73.9%、〈男性20歳代〉が73.7%、〈男性40歳代〉が73.0%と高くなっている。「『賞味期限』を過ぎてもすぐに捨てるのではなく、自分で食べられるか判断する」では〈女性50歳代〉が60.9%と高くなっている。



[職業別・地域別・市町別]



職業別で見ると、「冷凍保存を活用する」では〈家事〉が71.2%と高くなっている。「料理を作り過ぎない」では〈家事〉が65.8%と高くなっている。「残さずに食べる」では〈管理職・事務職・専門技術職〉が63.9%と高くなっている。「日頃から冷蔵庫等の食材の種類・量・期限表示を確認する」では〈家事〉が52.1%と高くなっている。「小分け商品、少量パック商品、バラ売り等食べきれぬ量を購入する」では〈家事〉が45.5%と高くなっている。

地域別で見ると、「残った料理を別の料理に作り替える(リメイクする)」では〈県北地域〉が30.3%と高くなっている。

市町別で見ると、「残さずに食べる」では〈宇都宮市〉が59.0%と高くなっている。